

第5学年

読むこと①

要旨や、事実と感想、意見などとの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読み、本や文章を読んで考えたことについて、自分の考えを広げたり深めたりすること

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

- ①本文をもとに文章の構成・構造をとらえられない。
- ②自分の考えを述べるときに、自分の知識や経験と結び付けながら説明することができない。

1

T：「生き物は円柱形」は双括型？尾括型？
C：「尾括型。筆者の主張は最後にあると4年生で学んだから。」
→明確な理由もなく、文や文章の構成・構造を曖昧にとらえている。

2

T：「なぜ『例外』をあえて説明文に書いたの？」
C：「例外を書くことで、説得力が高まると思うから。」
→自分の主張を、知識や経験と関連付けて説明することができていない。

実践の概要

単元名

説明の仕方の工夫を見つけ、話し合おう

『天気を予想する』光村図書

目標 筆者が用いた説明文の説明の仕方の工夫について、本文を根拠に考えをもち、自分の経験と結び付けながら考えを深めることができる。

- 内容**
- ・全文を意味段落に分け、構成の工夫を読み取る。
 - ・問いと答えの順序に仕組まれた構造の工夫を読み取る。
 - ・読み取った構成・構造の工夫を根拠に文章構成図を考える。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容（単元名）	つまずきの実態
第6学年	自分の感じたことを、朗読で表現しよう	作者の思いを読み取るだけになって、自分の経験や思いを関連付けて、読みを深めることができない。
第5学年	説明の仕方の工夫を見つけ、話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> ・本文をもとに文章の構成・構造をとらえられない。 ・自分の考えを述べるときに、自分の知識や経験と結び付けながら説明することができない。
第4学年	段落どうしの関係をとらえ、説明の仕方について考えよう	段落相互の関係を考えたり、叙述を自分の経験や知識と関係付けて主体的に読み深めたりできない。
第3学年	心にのこったことを、自分の言葉で表そう	伝えたいことを条件に合わせて、まとめて書くことができない。
第2学年	知っていることとつなげて読もう	長文になると、「問い」に対する「答え」の部分が見分けられない。
第1学年	おはなしのおみせやさんごっこをしよう	自分の経験と結び付けて想像豊かに読み、自分の考えをまとめたり広げたりできない。

単元末の目指す姿

- ・本文のキーワードやキーセンテンスをもとに、説明的な文章の構成や構造を考えることができるようになる。
- ・学習課題について主体的に考え、知識や経験と結び付けて筆者の主張を自分の言葉で説明することができるようになる。

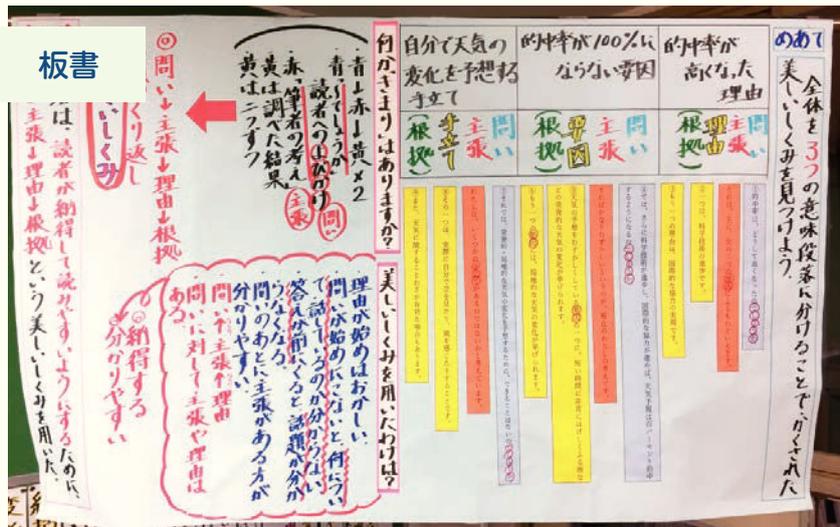
つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

発問、板書に結び付けたワークシートを用意する。

活動のねらい ▶ ワークシートに自分の考えを整理し、それが板書とつながることで、授業の内容を理解することができる。

ここがポイント

発問とワークシート、そして板書の3つがつながることで、児童は自分の考えを整理しやすくなる。本文を同じようにワークシートにも引用したり、児童が意見を書く場所を同じにしたりする。



(期待される児童の姿)

本文の、問い・主張・理由（青・赤・黄）にサイドラインを引き、板書にも同じ色の短冊を用意し並べることで、構成の工夫に視覚的に気付くことができる。そのため、明確な理由をもって自分の考えを主張することができる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

★深い学びにつながる実践

主発問で考えさせたことを、さらに深める補助発問を工夫する。

活動のねらい ▶ 全体で出された意見をもとに自分の考えを見つめ直し、考えを深めることができる。

ここがポイント

- 確認させる発問を、「自分だったら…」と考えられる発問にすることで自然と説明文に対する自分の考えをもち、表現できるようになる。
- 児童の発言から出てきた言葉をつかい、吟味（AかBかで考える）させる発問をすることで、練り合い、考えを深められるようにする。

授業の様子



僕は、意味段落の順序を入れ替えてはいけないと思います。理由は、前の話につながりながら問いが生まれているからです。的中率が上がってきた、じゃあ100%になるのかな？と読者が思うように意味段落が並んでいます。

僕が納得したところは、自分で空を見、風を感じる事が大切だという筆者の主張です。理由は、理科の実験でも、実際に空を見たり雲の量を見たりして天気を予想することができたからです。

(期待される児童の姿)

教材文に対する自分の考えを説明するために、自分の経験と関連付けて考えたり、全体で出された意見をもとに自分の考えを見つめ直したりするなど、深い学びにつながる事ができる。